

計画事業番号	00677	事務事業名	地域除雪懇談会推進事業	担当部署	建設部土木事務所	電話	6104
--------	-------	-------	-------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	豪雪地帯対策特別措置法			
事務事業開始年度	平成25年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度	平成31年度			-			
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち						
	(第 4 節) 交通の充実						
	(施策 3) 冬期間交通の確保						
2 対象	生活道路を有する全自治会(町内会)						
3 目的と内容	雪対策基本計画に基づき、より地域の実情に応じた除排雪を行うことを目指し、市民、除雪業者、行政が地域の除排雪に関する課題を共有するために地域除雪懇談会を実施する。						
4 実施内容(手段)	28年度まで	町内会等と懇談会の中で除雪マップを作成し、これに基づき市民・除雪業者・行政が協働で雪対策に取り組む。 平成25年度 2団体 平成26年度 19団体 平成27年度 23団体 平成28年度 30団体					
	29年度	昨年と同様の事業であるが、平成29年度においては、30自治会を対象に懇談会を開催する予定					

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成	地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成 (実施数 30団体)	地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成	地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成	地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成	地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成	地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成	地域除雪懇談会の開催 除雪マップの作成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	地域の実情に合った除雪を行う為に地域除雪懇談会を開催し、除雪マップを作成することは有効な手段である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			3,348		3,662		3,532		2,592	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	3,348		3,662		3,532		2,592	
		① 合計	3,348		3,662		3,532		2,592	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)		0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	
		③ 1人当り年間平均人件費		8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
		④ =②×③		1,764	0	1,764	0	1,764	0	
総事業費①+④			5,112		5,426		5,296		4,356	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①実施自治会数	目標値		30	30	22	22
		実績値		30			
	②	目標値					
		実績値					
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① 懇談会実施率 実施自治会数/対象自治会数126	目標値		58.7	82.5	100.0	100.0
		実績値		58.7			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値						
	実績値						

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民協働による雪対策の推進を図るため、地域除雪懇談会を開催し、地域の除排雪の現状や課題について市民・除雪業者・行政の3者が情報を共有し、課題や改善点を盛り込んだ除雪マップを作成することにより、冬期間の生活環境の向上に繋がるため本事業は妥当である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	課題や改善点を盛り込んだ除雪マップの内容を事前確認し除雪作業を行った。昨シーズンの除雪内容の検証については今年度予定しているが、概ね改善されている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	実施回数や参加自治会数においては、概ね今の計画が妥当なものと判断します。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	昨年からの委託業務において、業務分担等の見直しを行っており、さらなる削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--